

2024年1月18日（第1.1版）

北海道大学病院または手稲溪仁会病院に受診歴のある患者さんまたはご家族
の方へ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 腸腰筋体積の減少が心大血管手術における術後イベント発症に及ぼす影響

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院（病院長） 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院臨床研究開発センター（特任講師）横田 卓

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

北海道大学病院臨床研究開発センター（特任講師）横田 卓

[共同研究機関名・研究責任者名]

手稲溪仁会病院・山田 陽

[研究の目的と方法]

本研究の目的は、骨格筋量の減少（サルコペニア）が心大血管手術における術後イベント発症リスクに及ぼす影響を調べることです。サルコペニアは、様々な手術において術後のイベント発症リスクを高め、回復を遅らせることが報告されています。骨格筋の中でも上半身と下半身をつなぐ腸腰筋は歩行や階段昇降などの日常動作に必要な筋肉で、全身の骨格筋量を鋭敏に反映することが知られています。

本研究では、冠動脈バイパス術や弁置換術・弁形成術などの心大血管手術において、術前に手術リスク評価のために実施されるCT検査の画像を用いて、専用の解析ソフトで腸腰筋体積を測定し、腸腰筋体積の減少が心大血管手術後のイベント（脳卒中・虚血性心疾患・心不全・不整脈・出血・感染症など）発症リスクの増加に関わっていないかを調査します。

[研究対象]

下記期間内に当院または手稲溪仁会病院で待機的に心大血管手術を受けた方を対象とします。

・対象期間：2015年1月1日～2018年6月30日

[研究に用いる情報の種類]

年齢・性別などの基本情報、病歴、検査データ、治療歴、手術内容、手術後の経過・イベント、入院期間などのカルテに保存されている診療情報

※過去の診療情報を用いて行う研究であり、追加の検査や治療はありません。

この研究は、心大血管手術の患者さんの治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は、腸腰筋体積の減少が心大血管手術後のイベント発症リスクの増加に関わっていないかを調査するために、北海道大学に郵送・宅配または電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日 ～ 2025年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院臨床研究開発センター 担当医師：横田 卓

電話 011-706-7037 FAX 011-706-7613